



活動紹介

自治会 行事

川中本町自治協議会では、毎年節分前後に餅つき大会を行って、好評を得ているところです。

昔ながらの餅つき方法で、地域の子どもたちと一緒に三世代交流を図ることが目的です。

しかし、最近ある地域で、ノロウイルスによる問題が取りざたされていることから、大会の実施が否か、衛生面の対策について協議会において慎重に協議を重ねた結果、開催に至りました。

餅つき大会は、約70人の参加で問題なく、大盛況のうちに終わることが出来ました。又、お年寄りの健康確認や、地域の方々の近況等も尋ね、コミュニティーの輪を広げています。



健康・福祉部会

部会長 植村 守

健康・福祉に関する活動を行う

- 認知症対策（オレンジカフェ）
- 独居高齢者の見守り



「オレンジカフェ（認知症カフェ）の現状と抱負」

下関市で初めての認知症カフェ第1号店を平成27年11月4日に川中公民館において開設し、早や1年4ヵ月が経過しました。現在は川中地区全域で5箇所の設置が実現し、平成29年度5月に新しく「垢田小学校」への設置が決まりました。学校に設置することは全国でも初めてのことと思われまます。「児童」と「地域の高齢者」との交流が大いに期待されます。これまでの来場者数は1,100名を超え、1回当たりの来場者数は平均30名と順調に推移して



いる状況です。

内訳は、認知症本人及び介護する家族が15%、一般の地域住民が85%の利用比率となっています。利用者同士が理解を推し進めるうえではほどよい比率であろうかと思われまます。今後もこれまで以上に相互の理解が進み認知症家族に対して地域住民が寄り添い支え合い拡大・定着することが大いに望まれるところです。

部会 活動